

おひさまBUN・SUNメガソーラープロジェクトにおける協定



- ・ 設計・施工・メンテナンス等に係る技術的事項
- ・ 発電設備の認定や系統連系協議等に係るノウハウ
- ・ 発電に係る事業収支などの運営状況

配当後利益の30%程度(20年間で約3,800万円)

岡谷酸素株式会社

自然エネルギー信州ネット

発電事業・情報公開

事業分析・整理・普及活動

おひさまBUN・SUNメガソーラープロジェクト

長野県

おひさまBUN・SUNメガソーラープロジェクトの特長 ～自然エネルギー普及に資する官民連携5大ポイント～

ポイント1 小規模屋根も活用する分散型屋根貸しメガワット発電

→県内に分散している公共と民間の屋根をブドウの房のように束ねて分散型メガワット発電を推進

ポイント2 売電収入の一部を県下全域の自然エネルギー普及活動に還元

→売電収入の一部をおひさまBUN・SUNメガソーラープロジェクト経費（分析・普及等）へ充当

ポイント3 事業ノウハウはわかりやすく整理・分析して全県へ普及

→自然エネルギー信州ネットが技術的情報を分析・整理、事業マニュアルも公開

ポイント4 民間事業者が実施する全国最大規模の太陽光発電公開試験場

→モジュール設置角度変更、各モジュールメーカー発電状況を公開

ポイント5 現場見学会でビフォー・アフターもフル公開

→工事着手直後、設置工事途中、設置後の概ね3回現場見学会を開催し、工事手法も公開することにより県内企業の参入や市町村の屋根貸しを促す



ポイント1

小規模屋根も活用する分散型屋根貸しメガワット発電

BUN・SUN1号

豊田終末処理場（県有施設）



貸付面積
19,286.5m²

BUN・SUN2号

小川区公会堂（民間施設）



貸付面積
50m²



県内に分散している公共や民間の屋根を
ブドウの房のように束ねて分散型メガワット発電

※BUNは束ねるという「bunch」の略

ポイント2

売電収入の一部を県下の自然エネルギー普及活動に還元



売電利益の一部を自然エネルギー普及に還元

売電単価40円/kWh

※売電単価は、消費税抜



配当後利益の
30%

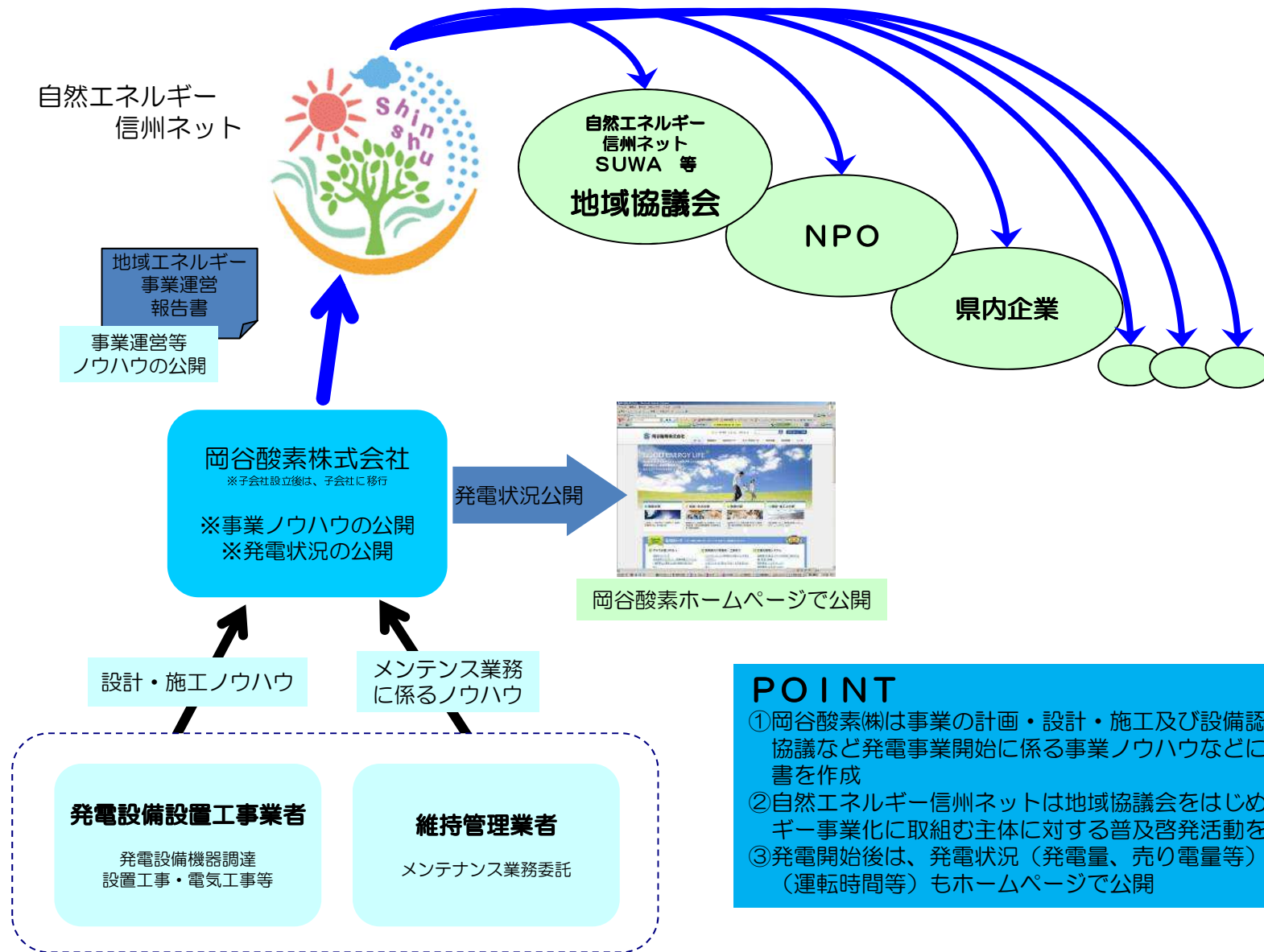
約3,800万円/20年



県下全域の自然エネルギー普及活動に還元

ポイント3

事業ノウハウはわかりやすく整理・分析して全県へ普及

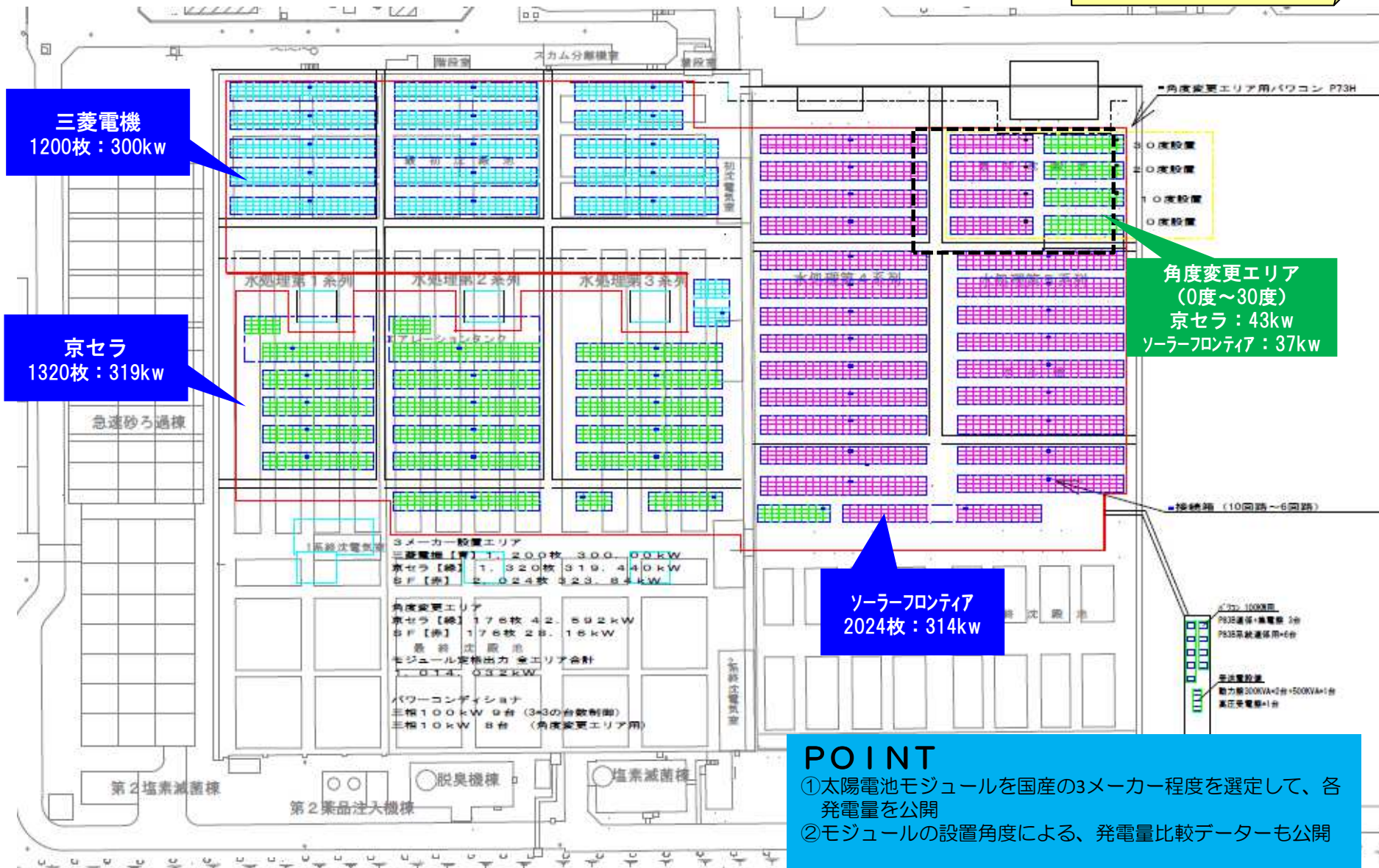


- POINT**
- ① 岡谷酸素(株)は事業の計画・設計・施工及び設備認定、系統連系協議など発電事業開始に係る事業ノウハウなどに係る事業報告書を作成
 - ② 自然エネルギー信州ネットは地域協議会をはじめ自然エネルギー事業化に取り組む主体に対する普及啓発活動を行う。
 - ③ 発電開始後は、発電状況（発電量、売り電量等）、運転状況（運転時間等）もホームページで公開

ポイント4

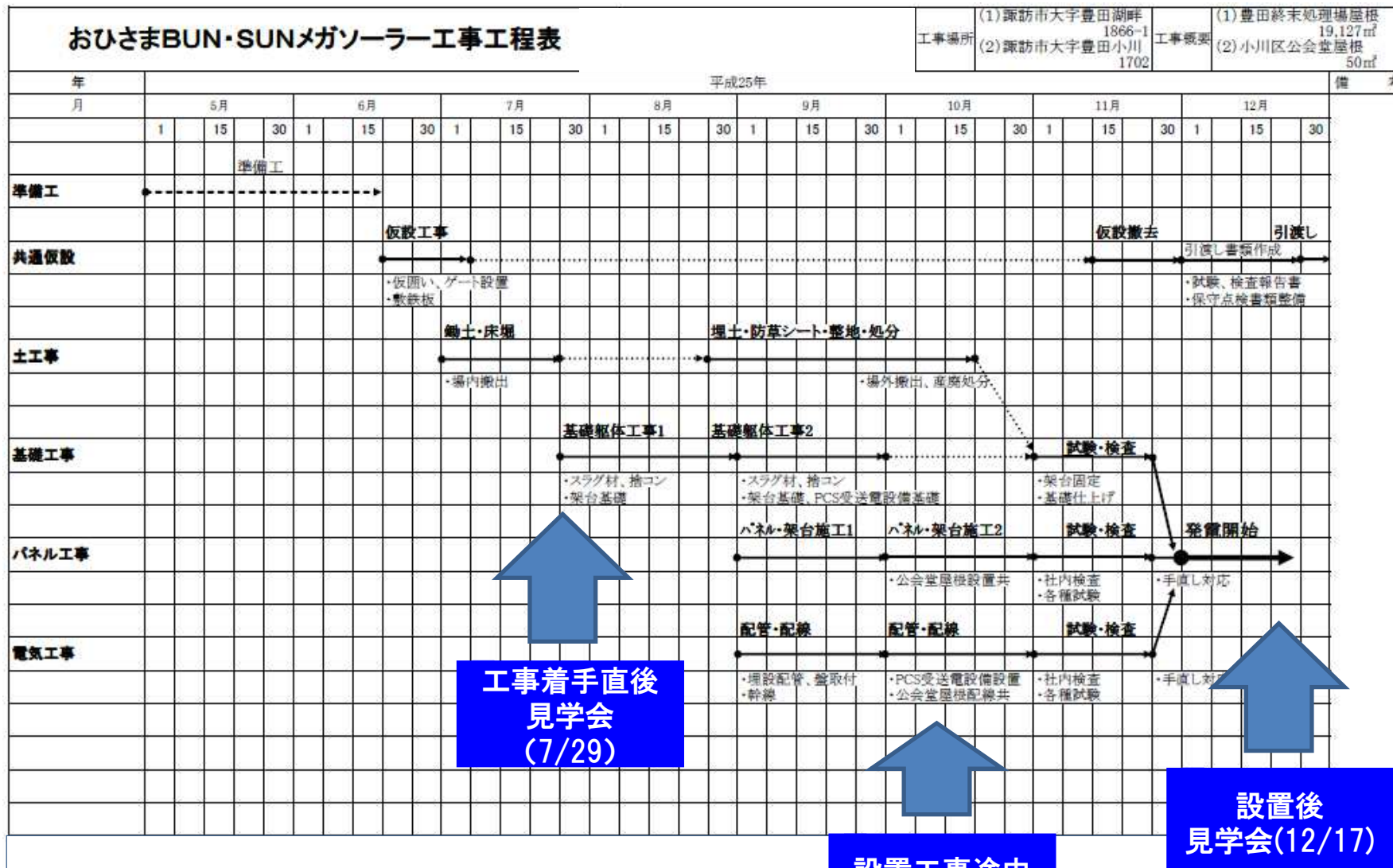
民間事業者が実施する全国最大規模の太陽光発電公開試験場

合計 1,013kW



ポイント5

現場見学会でビフォー・アフターもフル公開



その他のポイント

○ プロジェクトを通じた岡谷酸素(株)による地域CSR（企業の社会的責任）

- ・ 諏訪湖のブランド化を意識した発電所名称

「岡谷酸素太陽光発電所SUWACO LABO」

諏訪湖のほとりで諏訪地域の企業、住民がコラボして、運営する太陽光発電所（研究所）

- ・ 発電所イメージキャラクターを地域の小学生を対象に募集予定
- ・ 小川区公会堂へ非常用電源装置設置（20年保守）

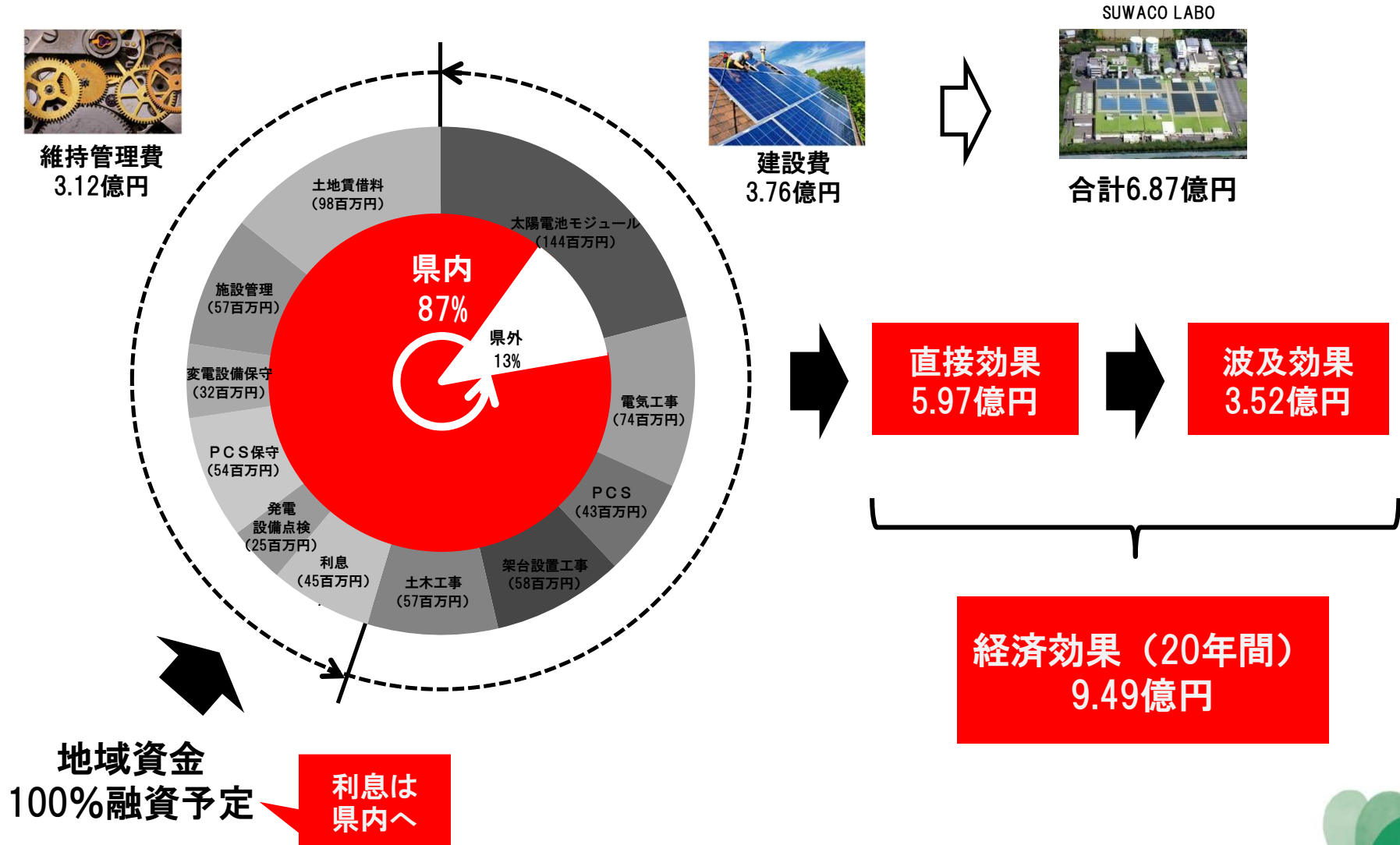
○ 下水処理場から生まれる材の活用方法の検証

- ・ 下水道汚泥から造られる溶融結晶化骨材を発電施設の雑草対策に有効活用



地域経済への効果（試算）

～地域の人材・技術・資金等を活用する地域主導型自然エネルギー事業～



(注)経済効果については、平成17年長野県産業連関表により算出